

# 建築人

2023

1

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.703





# 建築人

2023.01 No.703

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin"

## 2023年(令和5年)年頭所感

公益社団法人 大阪府建築士会  
会長 岡本森廣



新年 明けましておめでとうございます。

長期にわたる新型コロナウイルスは、健康被害はもとより経済活動の停滞や社会の激変を発生し、本会でもWeb会議やオンラインセミナーなどのIT化に係る役員・委員・事務局の意識改革と行動

を促進し、利便・効率を高める電子化改革並びに組織改編を進めております。

しかしながら、コロナ禍による諸活動の中止や延期は財政に大きく影響し、感染防止対策を踏まえた活動の回復に努めるとともに、新しい建築士会の構築を目指します。

本会は昨年、関係各位のご支援により創立70周年記念事業を成功裡に終え、2025年の大阪・関西万博と同年に開催する建築士会全国大会「大阪大会」の準備を初動し、全国の建築士会の中でも大阪が特筆される活性化を図ってまいります。

その一環として、昨年11月に(公社)全日本不動産協会と本会は「大阪ヘルスケアバピリオン出展に伴うミライREBORNスマイ共催実施協定」を締結し、2050年の未来のスマイを想定した子育て世代が魅力を感じる健康で生き生きと生活ができる住環境のコンペティションを行います。

本会の基幹は、公益法人としての公益目的事業による社会貢献活動で構築しており、万博などの社会時事にも呼応し災害時の応急危険度判定・被災度判定・建築相談・罹災証明・災害鑑定調査等々、より広く府民の方々にも団体の存在をアピールし、国際的視野も含めて建築士会の認知度を高め、建築界全体の奮起に繋げてまいります。

会員の皆様には、更なる本会活動の推進にご理解とご支援をお願い申し上げます。

## 大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

新しい年を迎え、賑わいを取り戻した大阪市中部の中之島エリアに位置する、大阪水都の顔である大阪市中央公会堂を取り上げたい。

未だ続く新型コロナウイルス蔓延による影響下ではあるが、人々が集う「OSAKA光のルネサンス2022」が昨年末に開催された。このプログラムは20年目を迎え、水辺の風景を活かした光の演出により、かつての八百八橋のように、水辺と市民とまちとの関係を繋げるプログラムとなっている。

その中でも大阪市中央公会堂は、そのファザードにプロジェクションマッピングを施す映像表現で、水・氷・蒸気といったモチーフによるリアルタイムな変化は、進化し続ける水都大阪を表現している。このような賑わいを、今年は満喫したいものだ。

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「ロックペイントR&Dセンター」

設計：竹中工務店

施工：竹中工務店

「リプロ大阪堺工場」

設計・監理：大成建設関西支店一級建築士事務所

施工：大成建設関西支店

「House with boulevard trees」

設計：マニエラ建築設計事務所

施工：笠谷工務店

8 動静レポート

9 Topics

10 インフォメーション・事業案内

12 Close-up Osaka

18 記憶の建築

「広島原爆傷害研究所職員宿舎」1953年

広島に残る原爆関連施設の今 / 松隈 洋

## 建築人 No.703 2023年1月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部

部門長：荻窪伸彦(編集人代表)

委員長：松下典央

編集人：飯田英二 梅田武宏 笠井志保 河合哲夫

茂籠一之 大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義

三谷勝章 武藤優哉 若江直生

事務局：隅原正太 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和5年1月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961



大阪市西淀川区にある、大手塗料メーカー工場内に計画された塗料研究開発施設。地球環境・地域環境に配慮した新素材の開発拠点として、自社の最先端・高品質な塗料を仕上材に、端正でクリーンな外装内装計画とした。淀川越しに大阪市街を一望する快適な居室空間とする一方で、河川氾濫等の災害に対応した堅牢な鉄筋コンクリート造とし、地域住民が避難可能な居室やバルコニーを設けている。（米正 太郎）

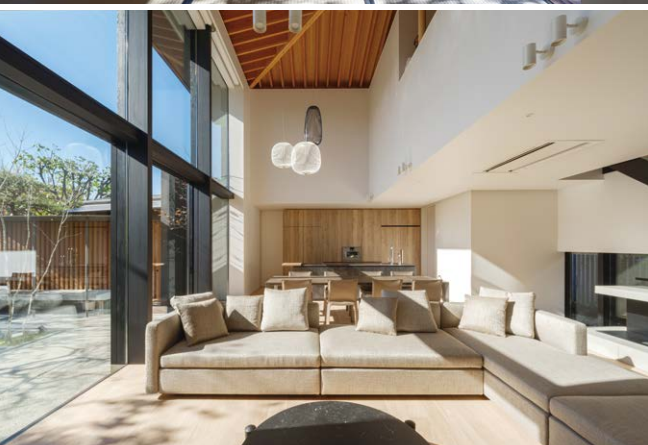
所在地：大阪市西淀川区  
用途：研究所  
竣工：2022.11  
構造規模：RC造地上4階建  
敷地面積：14171.35㎡  
建築面積：819.87㎡  
延床面積：3059.72㎡  
写真：古川泰造



再生プラスチック杭製造を行うリプロの岡山県外初拠点となる再生樹脂ベレット工場。他社工場の土地を借地しながら一部材料支給を受け、製品納品を行う関係にある。岡山にある本社に同じく敷地が元埋立地であり港湾都市である海のイメージ大阪へ進出する事業拡大の波をイメージとする有機的な外観を採用した。銘板や内装には、リプロの2棟目記念と事業発展の祈りに、二線掛けをモチーフとしたサインを使用し、敷地の境界杭、埋設設備の鋸は当PJ専用の発注者製品を使用させて頂いた。循環型社会の実現を目指すリプロの更なる発展に寄与していくものと期待している。

(松延浩人)

所在地：堺市西区  
 用途：倉庫、工場  
 竣工：2022.08  
 構造規模：鉄骨造  
 地上1階  
 敷地面積：462,983.39㎡  
 建築面積：1,563.00㎡  
 延床面積：1,399.00㎡  
 写真：Imada photo service  
 今田耕太郎



敷地南側の前面道路は並木道となっており、本計画において敷地内の造園計画と連続するように計画を進めた。外観のグレー塗装は植栽群をさらに引き立てることができ、木地色の板張りは温かみのある表情を生み出している。下屋を同じレベルで統一させることで、一体感があり奥行き感を持たせ、軒先は出来るだけ先端をシャープに見せるため内樋とし、浮遊感を演出した。LDKには大きな吹き抜けが南側のテラスに向かって開放的に設けており、庭の植栽群と奥にたつ並木林が一体感を味わえる空間となっている。離れの茶室はLDKに隣接して設けるのではなく、廊下を介することで和と洋の中間領域を設けた。南東庭に囲まれた茶室は落ち着いた空間で、日々の疲れを癒すことができる場である。

用途：専用住宅  
 竣工：2022.11  
 構造設計：うきょう建築  
 構造事務所  
 構造規模：木造  
 地上2階建  
 敷地面積：506.36㎡  
 建築面積：194.39㎡  
 延床面積：284.23㎡  
 写真：松村芳治

# 2023年 「建築人」作品募集



審査委員長 磯 達雄

1963年 埼玉県生まれ  
1988年 名古屋大学工学部建築学科卒業  
日経BP社入社「日経アーキテクチュア」編集部勤務(～1999年)  
2001年～ 桑沢デザイン研究所非常勤講師  
2002年 フリックスタジオ共同主宰(～2020年)  
2008年～ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師  
2020年～ Office Bunga共同主宰

## Gallery 掲載要項

### Galleryとは…

公益社団法人大阪府建築士会は、会誌『建築人』を会員サービスの一環として毎月発行しています。発行部数は約3,000部で会員のほか、官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。この『建築人』では、毎号「Gallery」というコーナーを設けており、皆様の建築作品を掲載しております。皆様の作品を本誌へ掲載しませんか？

### 掲載作品は、同時に『建築人賞』候補に！ 『建築人賞』とは

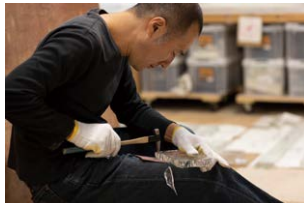
Gallery掲載作品は自動的に大阪府建築士会が毎年表彰している『建築人賞』の候補となります。(毎年1月号～12月号掲載作品)

『建築人賞』は、これまで14回を数える賞で、個人の審査委員長により選考します。2023年は昨年に引き続き、建築ジャーナリストの磯 達雄さんをお願いしています。

賞には、「建築人賞」「建築人奨励賞」「建築人賞佳作」「建築人新人賞」があり、建築主、設計者、施工者に賞状が贈られます。さらに『建築人賞』の設計者の方には、記念品が授与されます。表彰は、5月(予定)に行われる建築士会の年次総会で表彰式を挙行しており、受賞される建築主、設計者、施工者の方に参加していただいております。



記念盾 グラスアーティスト 佐久間 靖 作 (左：建築人賞 右：建築人新人賞)



佐久間 靖

1971年 大阪府高槻市生まれ  
1996年 神戸学院大学 法学部 卒業  
1997年 株式会社 ロクレーブルプロダクションガラスアーティスト 三浦啓子氏に師事  
2016年 株式会社 Jiku Art Creation 作品制作に従事

### ■ 掲載費用

100,000円(1頁カラー)

\*①：初回割引 80,000円

(設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合)

\*②：若手初回割引 50,000円

(40歳以下で建築設計事務所を主宰されている方で\*①を満たす方)

### ■ 掲載概要

建築主、設計者、施工者、協力会社、  
所在地、用途、竣工年、構造規模、  
敷地面積、建築面積、延べ床面積

### ■ 掲載記事内容

写真4点程度  
説明文章：約300字程度

# 動静レポート

## 会長動静

- 11/24 柏原市長面談
- 11/25 泉佐野市長面談、SDGs 講演会
- 11/26 近畿建築祭「京都大会」
- 11/28 羽曳野市長面談
- 11/29 日本建築士会連合会教育委員会
- 11/30 岬町副町長面談  
近畿建築士会協議会+会長会議
- 12/ 3 近畿学生住宅大賞審査会・表彰式
- 12/ 5 大阪府収用委員会  
藤井寺市長面談
- 12/ 9 泉南市長面談
- 12/10 大阪工業大学 100 周年記念対談
- 12/13 全日本不動産協会本部長対談  
阪南市長面談
- 12/15 泉南市長面談
- 12/16 正副会長会議、運営会議
- 12/19 大阪府収用委員会現地踏査  
近畿建築士会協議会女性部会
- 12/20 大阪府収用委員会
- 12/21 理事会
- 12/22 日本建築士会連合会
- 12/23 全日本不動産協会本部長面談



左より石上委員、山添専務理事、岡本会長、永野耕平岸和田市長、上田副会長、堤勇二岸和田市副市長、松下貴志まちづくり推進部長

本誌 12 月号 P8 の 10/28 訪問時の永野耕平岸和田市長のご氏名に誤りがあり、深くお詫び申し上げますとともに訂正して再掲させていただきます。



左より富宅正浩柏原市長、岡本会長、濱田副会長



左より田中副会長、千代松大耕泉佐野市長、岡本会長、杉本委員



左より尾鍋監事、岡本会長、山入端創羽曳野市長、濱田副会長



左より奥和平都市整備部長、中口守岬町副町長、岡本会長、藤江理事



左より岡本会長、岡田一樹藤井寺市長、尾鍋監事



左より櫻井委員、濱田副会長、水野謙二阪南市長、岡本会長、小崎委員



左より木村委員、岡本会長、山本優真泉南市長

## 12 月度 理事会報告

日時 12 月 21 日 (水) 16:00 ~ 18:00  
 場所 本会会議室  
 出席 理事 42/48 名 監事 2/2 名

### (1) 入退会の承認

(人)	11 月	入会	退会等
正会員	2,371	3	3
準会員	31	0	3
特準会員	25	0	0
賛助会員	141	1	0
計	2,568	4	6

### (2) 会計報告

(円)	11 月計	累計
収入	6,004,940	90,350,983
支出	13,336,208	92,044,252
差引	△ 7,331,268	△ 1,693,269

上表の当期経常増減明細を承認しました。

会員の減少や受託講習のオンライン化及びコロナ禍による委員会活動の低調の影響が大きい。一方で CPD 登録、泉佐野市の行政協力、広域災害調査等は堅調に推移しています。

本月は昨年同時期に比して約 400 万円減の収支差引額であることを報告し、具体的な対応策が必要としました。

### (3) 5 年度予算案

運営会議で各部門の次年度の活動計画を反映した提示額をもとにして、本会活動全体の予算案に調整し、収支額ともに 12,220 万円の規模で承認されました。

## 令和 4 年二級・木造建築士設計製図試験合格者の発表

12 月 1 日に二級・木造建築士設計製図試験合格者の発表がありました。

大阪と全国の結果 ( )は全国

区分	受験者数	合格者数	合格率
二級	871 (10,797)	405 (5,670)	46.50 (52.5)
木造	75 (432)	43 (255)	57.33 (59.0)



## 南禅寺界限 至高の別荘〈非公開 對龍山荘〉の見学 ～近代日本の建築・庭園・文化を知る～

日時：令和4年12月5日(月) 14:00～16:00 会場：對龍山荘(京都市左京区南禅寺福地町)

企画：事業部門(シニアサロン+女性委員会)

参加者：31名



竹田敦子(理事)

紅葉も終わり、ひっそりと冬の到来を待つ晩秋の京都にて、普段は非公開の對龍山荘見学会を開催いたしました。

京都東山の麓にある南禅寺界限の別荘群は、琵琶湖疏水が庭の中へ引き込まれ、数寄屋建築と庭園と東山の借景が一体化した秘境とも呼ばれる地域です。

当初は琵琶湖疏水を引き込み水車の動力を利用した「工場用地」として開発される予定が実現に至らず、高級別荘地として分譲されたものです。

疏水から水を引き入れて庭園を造る別荘が政財界人の憧れとなり、明治期から昭和期に建てられた贅を尽くした別荘15軒が現存しています。

その中でも對龍山荘は、南禅寺の参道沿い、塔頭の金地院に接して、二千坪もある広大な敷地を有し、一步なかへ踏み込めば、参道を行き交う人や車の喧噪も聞こえず、森閑とし

た別世界が広がってありました。

もともとこの地には伊集院兼常の山荘があり、これを入手した京の呉服商・市田弥一郎が、建物を大工棟梁の島田藤吉に、庭を小川治兵衛(植治)に任せ、明治34年から4年の歳月をかけて築いたのがこの對龍山荘です。小川治兵衛は、伊集院の時代からすでにあった池と庭園に手を加えて作庭を行ったといわれており、当初より極めて高い評価を得て、昭和63年に国の名勝に指定され、往時の姿をいまも留めています。

庭は東山を背景にして、大きな池と泳ぐ鯉、滝の響き、そのすべてがつながり溶け合っています。

書院・對龍台は、柱や梁、垂木は時の経過の中でも朽ちることもなく、端正な拇普請は堂々とした佇まいを見せています。

一方、南側に位置する聚遠亭は、丸太や土壁、丸窓や竹の縁側などやわらかい風情を醸

し出して、懐かしささえ感じました。

聚遠亭の北側には二つの茶室があり、庭もこの周囲のみが茶庭となっていました。

そのほか、ため息の出るような数々の美術品も拝見させていただきました。

静寂でやさしい景色を五感で感じられるひとときを参加者の皆さまと共に過ごさせていただきました。

小川館長をはじめ山荘の皆さまの先人の思いを後世に継承されているお姿に感銘を受けました。心に残るすばらしい体験をありがとうございました。

また、京都大学大学院人間・環境学研究科教授で本会副会長の中嶋節子先生には、對龍山荘を特別に見学させていただけるようにご尽力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

## 建築相談室から(69) 賃借人からの相談

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

建築相談室には土地や建物の所有者だけでなく、賃借人からの相談も多くあります。

今回はその中から建物を維持管理するための「費用」についての相談をまとめました。

### 退去時の原状回復費用

「7年9ヶ月住んでいた鉄骨造の賃貸住宅を退去することになった。畳表やふすまに子どもがキズをつけている。ある程度請求されると思うがその際に注意する点を教えてください。」という相談がありました。原状回復費用については古くから賃貸人と賃借人の間で紛争になることが多く、それを受けて国交省は「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」をまとめています。その中で「原状回復を「賃借人の居住、使用により発生した建物価値の減少のうち、賃借人の故意・過失、善管注意義務違反、その他通常の使用を超えるような使用による損耗・毀損を復旧すること」と定義し、その費用は賃

借人負担としました。そして、いわゆる経年変化、通常の使用による損耗等の修繕費用は、賃料に含まれるものとししました。」と記載されています。相談を受けた建築士もガイドラインの話をしており、通常使用・経年劣化によるものか、賃借人の注意不足・故意・過失で起こった損耗かをきちんとわける必要があると答えています。

### 原状回復費用を請求された

同じような原状回復費用の相談ですが既に原状回復費用の請求がされてからの相談です。「賃貸マンション退去時の原状回復費用としてかなり高額な請求をされた。入居8年でフローリングの貼り替えに11㎡で21万円、14㎡で27万円(㎡あたり約2万円)だった。」これだけの相談だと内容もよくわからずなんとも答えられません。加えてこんなことも言われたそうです。「また管理会社と不動産業者から各々89万円と51万円の二通

届いた。」これについては相談を受けた建築士も「意味がわからない」と記録に書かれていました。昔は賃貸人と賃借人の間で退去時の費用でトラブルになることも多く、これが前述のガイドラインに至ったという背景があります。ガイドラインが明示されて最近では減ってきたかに思われていますが、まだまだこのような相談はあるようです。

### 賃借人は耐震改修できるか

「昭和48年築の鉄骨ALC3階建て延床200㎡の1・2階をテナントとして借りているが、ビルのオーナーが耐震改修に関心が無い。耐震改修を借り手側でできるならやりたいがどうしたら良いか?」という相談がありました。鉄骨造なので耐震診断や耐震改修設計・工事となるとかなりの費用がかかりますし、それを賃借人が負担するというのは現実的ではありません。相談担当者もそう伝えていました。

# Information

## 建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離隔距離確保等の新型コロナ感染防止対策を行います。受講者におかれましてはマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力を願います。感染状況によっては延期、中止となる場合がありますので、最新情報は本会HPでご確認ください。本会以外の事業は主催者にお問い合わせください。

## 既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。令和3年6月1日より、広域緊急交通路沿道ブロック塀等耐震化促進事業（補助金）における耐震評価機関となりました。スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご利用ください。（業務内容）耐震診断報告書の審査、評価 耐震補強計画書の審査、評価等（対象建築物）公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。（会員特典）申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

## 令和4年度監理技術者講習

（監理技術者以外の方も受講可能）  
1/20、2/17、3/16 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。日時 1/20（金）、2/17（金）、3/16（木）時間 8:55～17:00会場 本会会議室定員 各回20名（定員に達し次第締切）受講料 WEB申込み9,500円 郵送申込み10,000円申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。http://www.kenchikushikai.or.jp/torikum/news/2015/2015-07-28-2.html

## 令和4年度大阪府ヘリテージマネージャースキルアップ講習 第4回

2/4 CPD4単位

本講習は、ヘリテージマネージャーのさらなるスキルアップを目的に行う講習会です。全6回の講座で保存活用、調査や修復技術などを学びます。日時 2/4（土） 13:00～17:00テーマ 現場調査の方法1「民家調査の歴史と編年」講師 大場 修テーマ 現場調査の方法2「建築物材に残る刃痕の調査」講師 渡邊 晶会場 本会会議室（予定）定員 40名（申込先着順）受講料 本会会員及び大阪府ヘリテージマネージャー協議会会員2,500円 会員外3,500円※詳細および申込は本会ホームページをご覧ください。

## 令和4年度建築士定期講習

3/2 CPD6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成31年度・令和元年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。▼DVD講義日程・会場・定員3/2（木）大阪府建築健康会館 50名時間 9:15～17:00受講料 12,980円（消費税含。事前振込）申込方法 申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。（平成31年度・令和元年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。）ご記入後、大阪府建築士会事務局へ持参していただきます。受付場所（送付場所）大阪府建築士会事務局注）定員に達し次第、受付を終了します。▼建築技術教育普及センターHPhttps://www.jaeic.or.jp/koshuannai/teiki/koshu/kteki/kt-koshujisshi2021.html

## 既存住宅状況調査技術者講習

更新講習2/22 CPD2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2019年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。日時 2/22（水） 13:30～16:50会場 本会会議室定員 20名（定員に達し次第締切）受講料 WEB申込み17,000円

郵送申込み17,600円  
申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。上記以外にオンライン講習も受付中です。

## 第66回大阪建築コンクール

1/16～31

本コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通して建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者を表彰するものです。募集対象大阪府知事賞部門、渡辺節賞部門 両部門共建築物の用途・規模は問わない審査員委員長 橋爪紳也（大阪公立大学研究推進機構 特別教授）委員 植野基一（大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室室長） 荻原廣高（神戸芸術工科大学准教授） 満田衛資（京都工芸繊維大学教授） 山本麻子（大阪工業大学特任准教授）

応募期間 1/16（月）～1/31（火）

応募資格 大阪府知事賞部門：本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者 渡辺節賞部門：本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者で完了検査済証発行日に39歳以下の者 応募料 本会正会員 1作品20,000円 本会正会員外 1作品40,000円

## ミライREBORNスマイ プロジェクト - 医・食・住でミライの健康な都市生活 -

主催 公益社団法人全日本不動産協会 共催 公益社団法人大阪府建築士会 ●募集目的 本プロジェクトでは、入賞作品の中から3DCG映像等の作品を共創（翻案・制作）し、2025年大阪・関西万博「大阪ヘルスケアパビリオン」での展示・公開を予定しています。 ●募集部門・応募資格 ①学生・一般の部 応募資格はとくになし。大学、大学院修士・博士課程、短期大学、専門学校、高等専門学校・その他就学者を含む。 ②建築家・デザイナーの部 建築・都市デザイナー、グラフィックデザイナー、ビジュアルアーティストなど幅広いジャンルに属するプロフェッショナルのクリエイター。 ●審査委員 樋口真嗣（審査委員長、映画監督・特技監督） 赤井孝美（ゲームクリエイター、アニメプロデューサー） 秋吉浩気（建築家・メタアーキテクト） 内田友紀（都市デザイナー） 齋藤精一（クリエイティブディレクター） 重松象平（建築家） 中川エリカ（建築家） 近藤良一（大阪の住まい活性化フォーラム会長）

豊田崇克（一般社団法人ソフトウェア協会副会長） ●賞・副賞 最優秀賞 200万円・賞状、トロフィー（1点×2部門=計2点） 優秀賞 50万円・賞状（2点×2部門=計4点） 佳作 30万円・賞状（4点×2部門=計8点） 特別賞 50万円・賞状（部門を問わず全体で2～3点程度） ●募集要項公表 1/12（木） ●応募登録期間 1/12（木）～5/10（水） ●応募受付期間 6/12（月）～8/10（木） ●問い合わせ 公益社団法人大阪府建築士会 メール:mirai.reborn.sumai@aba-osakafu.or.jp

## 建築士の会 いずみ野

## 和泉市新庁舎 見学会

1/14 CPD3単位

全国各地で公共施設の更新時期を迎えています。市民サービスの多様化への対応や、激甚災害時の防災拠点化等、市庁舎はより一層の高機能化が求められています。和泉市においては新庁舎が令和5年1月21日にグランドオープンを迎えます。和泉市新庁舎整備事業は複数回の市民ワークショップを経て、公募型プロポーザルによりデザインビルド（設計・施工一括発注）方式で事業者決定されました。整備事業に関わられた方にお話を伺い、施設見学をします。グランドオープン直前の貴重な機会ですので奮ってご参加ください。日時 1/14（土） 13:00～ 受付開始 13:30～ 講演会 □建替えに至った経緯について 和泉市総務部総務管理室室長 大西和志 □基本設計のコンセプトについて ㈱梓設計関西支社 アーキテクト部門設計部 エグゼクティブディレクター 池内一史 ※実施設計は㈱綜企画設計 □建替え工事で苦労した点・仮設計画について 和泉市新庁舎整備事業作業所 所長 佐藤友成（浅沼組・深阪工務店・綜企画設計特定建設工事共同企業体） 15:00～ 施設見学 16:30 終了 会場 和泉市役所1階ホール 定員 60名（申し込み先着順） 参加費 会員・一般1,000円 学生500円（学生証提示による）

## 建築トラブルの原因と責任を考える（公財）住宅リフォーム・紛争処理支援センターのご紹介

1/18 CPD2単位

設計、監理、施工の瑕疵（契約不適合）や金銭問題等建築トラブルは多種多様です。自分自身がトラブルの主人公とならないため

INFORMATIONの詳細及び申込みは本会ホームページに掲載しています。

【大阪府建築士会】大阪府中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階

http://www.aba-osakafu.or.jp/ メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

に、建築士として日頃の自己研鑽は不可欠です。併せて、発生している問題の解決も建築士の重要な役割です。トラブルの原因と責任の所在を見極め、正しい判断を下せる建築士が強く望まれています。

本講習会では、多くの事例を紹介し、その原因と対処法を考えると共に、トラブルの解決者となり得る人材育成を目標としています。

日時 1/18(水) 18:00～20:00

会場 大阪府建築士会会議室

講師 ・相談対応の姿勢と不具合事例紹介  
建築相談委員会幹事 萬川幹夫  
・(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センターの概略説明  
同センター職員

定員 20名(定員に達し次第締切)

受講料 無料

## 大阪地域貢献活動センター 2023年度助成対象活動募集

建築士と地域住民等が連携して進めるまちづくりなどの地域貢献活動に対して、本会が活動費の助成などを行います。

募集締切 1/31(火)

対象とする活動

原則として建築士と地域住民等で構成する団体が、地域住民等と連携して進める地域貢献活動で、営利を目的としない活動。  
助成額 1件の助成額は30万円を限度  
詳細 <http://www.aba-osakafu.or.jp/pub/lic/townplanning.html>

## 令和4年度建築士試験合格者お祝い企画 “ささっ”と描けるスケッチパース ～今年は2回シリーズで～

2/2、3/9 CPD各2単位(予定)

令和4年度建築士試験に合格された皆様に向けてのお祝い企画です!

お客様との打ち合わせの際に“ささっ”とスケッチパースが描けたらいいな…と思われたことのある皆様へ!

一昨年、昨年と実施して好評を期した企画を、今年は下描きから彩色まで2回に分けてじっくり取り組んでいただきます。

一定の法則(透視図、遠近法、陰影のつけ方など)に従って描くパースに、絵心の有無は問題ありません。描き方のコツを知ることによって、説得力のあるパースが描けるようになります。

打ち合わせを円滑に進めるツールとして使いこなせるよう、是非コツを掴んでください。もちろんどちらか1回だけの参加もアリです。

日時 1回目 2/2(木) 18:30～20:30

2回目 3/9(木) 18:30～20:30

場所 本会会議室

講師 藤山 文(大手前短期大学インテリアパース講師)

定員 25名(申込み先着順)

参加費 各回共通

会員1,500円 会員外2,000円

R4年度建築士試験合格者

会員1,000円 会員外1,500円

2回参加者は2回分合計金額より

500円割引

## 「緩ませない」脱落・破断させない ボルトの設計と留意点

2/8 CPD3単位(予定)

本講習は設計者・監理技術者として、ねじの適切な設計方法と留意点、お客様への適切な維持管理の方法を説明するものです。

ねじに関する事故例の紹介、ねじの損傷や緩む原因、緩ませないためには何を管理する必要があるのか等について解説します。

日時 2/8(水) 14:00～17:00

会場 大阪府建築士会

受講料 建築士会会員3,500円

後援団体会員4,500円

一般5,500円

## 枚方市総合文化芸術センター見学会

2/16 CPD2単位(予定)

演劇や音楽公演、発表会など様々なジャンルの公演に対応する高性能ホール建築。内装壁面にレンガを採用し豊かな響きと遮音性にも優れています。このホール建築をいかに設計したか?という観点で、設計者に解説してもらうとともに苦労した点、この建築を成立させるための工夫等を語っていただきます。

日時 2/16(木) 14:15～16:15

会場 枚方市総合文化芸術センター

受講料 建築士会会員2,500円

後援団体会員3,500円

一般4,500円

## クラウドファンディングを活用し、 本会と地域住民がまちづくり活動を 応援します

12/21～2/17

本会は平成10年より大阪府内で活動する建築士を含む合計40団体の地域貢献活動に助成を行い、大阪のまちづくり活動の活性化に貢献してきました。本年度も地域のまちづくり活動を地域住民が応援するという理想の姿を目指し、クラウドファンディングによりその資金を募らせていただきます。ぜひご支援賜りますようお願い申し上げます。

テーマ まちづくりびと応援プロジェクト

募集期間 12/21(水)～2/17(金)

目標金額 45万円

支援金額 500円、1,000円、10,000円、

50,000円

プラットフォーム READYFOR(All in・寄付型)

リターン ご支援頂いた助成活動の年間活動内容のご報告等。

ご支援頂くに際し、READYFORへのご登録が必要になります。詳細はHPをご覧ください。

<https://readyfor.jp/projects/osakafushikai2023>

## 第2弾 これを見ずして村野藤吾を 語るなかれ

2/17 CPD4単位(予定)

2018年に開催した村野藤吾建築をめぐる第

2弾企画は、本町筋界隈を散策します。セミナー会場において京都工芸繊維大学助教笠原一人先生のレクチャーを受けた後、それぞれの建物を見学します。

日時 2/17(金) 13:00～17:00

行程 セミナー⇒輸出繊維会館⇒綿業会館⇒森田ビル⇒フジカワビル⇒解散

集合・セミナー会場

竹中工務店(大阪府中央区本町4-1-13)

講師 京都工芸繊維大学助教 笠原一人

参加費 会員2,500円 会員外3,500円

定員 30名(定員に達し次第締切)

## 茨木市文化子育て複合施設「おに クル」工事見学会+説明会

2/21 CPD3単位(予定)

2024年夏から順次オープンを予定している茨木市文化子育て複合施設「おにクル」は公募型プロポーザルにより、竹中工務店・伊東豊雄建築設計事務所共同企業体が選定され、現在竹中工務店の施工により工事が進んでいます。この度、意匠および構造設計者による設計主旨の説明とともに、仕上工事に入っている工事現場の見学会を開催します。

日時 2/21(火) 13:15～16:30

集合場所 IBALAB@広場 ステージ前

受講料 建築士会会員3,500円

後援団体会員4,500円

一般5,500円

国際委員会

## 第17回海外研修旅行のご案内

2/22～28

ホーチミン市を訪れホーチミン市建築士会との交流協定の締結式参加、市内の歴史的建造物の視察、古都フエの視察にミーソン遺跡(チャンパ遺跡)をみていきます。

日程 2023/2/22(水) 関空発、

28(火) 早朝帰国(現地5泊機中1泊)

参加費 191,000円

※但し、別途燃油サーチャージ必要

※参加者が15名以上の場合割引あり

※一人部屋利用の場合、追加費用要

定員 20名

締切り 12/20(火)

但し、コロナ等の状況により中止の対応が生じる場合あり。

## 行政からのお知らせ

### 近畿建築行政会議 建築基準法 共通取扱い集2022(第2版) 説明会開催のご案内

1/13・1/19

近畿建築行政会議総則部会では、統一的運用が可能なものができる限り統一し、特に床面積や建築面積の算定方法等の基本的事項は統一すべきとの認識から、近畿圏内

の各特定行政庁の内規等をもとに、統一化が可能なものを抽出し、このたび、「近畿建築行政会議 建築基準法 共通取扱い集2022(第2版)」を出版することになりました。

刊行に伴い、説明会を開催いたします。

日程・会場 1/13(金) 大阪市中央公会堂

1/19(木) キャンパスプラザ京都

時間 14:00～17:00

申込 近畿建築行政会議HPより

問合せ 大阪府建築指導室審査指導課

確認検査G Tel.06-6210-9724

## その他のお知らせ

### 建築士法第27条の2第7項に基づく 開設者・管理建築士のための建築 士事務所の管理研修会

2/10

本研修会は、建築士事務所の管理・運営を適切に進める上で把握しておくべき重要事項を網羅した内容となっており、5年ごとの事務所登録の更新の機会に合わせて受講する(任意)ことで、資質の維持向上を図り、業務委託者の期待に応えるべく業務の適正化や建築物の質の向上等を目指すことを目的としています。

日時 2/10(金) 10:00～16:30

会場 大阪府建築健康会館6階ホール

定員 45名

受講対象者

建築士事務所の開設者及び管理建築士

受講料 主催団体会員9,000円

後援団体会員13,000円

一般15,000円

主催 (一社)大阪府建築士事務所協会

(一社)日本建築士事務所協会連合会

詳細・申込 主催団体のホームページ参照

### 2022年度 GBRC建築技術セミナー

#### 「SDGsへの取り組みに役立つ建築技術」-実務におけるヒント-

2/22

構造グループは既存杭や木材利用について、避難防災グループは避難安全検証法関連について、材料グループはJASS5の改訂やコンクリートと環境について、確認検査課は長時間準耐火構造による中高層建築物のプロジェクについて外部の講師をお招きしご講演いただきます。

日時 2/22(水) 12:50～17:30

会場 大阪市中央公会堂

参加費 無料

主催 (一財)日本建築総合試験所性能評定課

Tel.06-6966-7600

詳細・申込 主催団体のホームページ参照

## ウォンバットと暮らすまち 池田



池田市 都市整備部 公園みどり課長 西野健一

### 1. 池田市の概要

池田市は、大阪府の北西部、大阪都心から北へ16kmほどのところに位置し、西部は猪名川をはさんで兵庫県と接しています。五月山のみどりや猪名川、余野川などの清流に囲まれた自然豊かな都市であり、また、大阪市内から電車で20分という近い場所にあることからベッドタウンとして人気があり、発展してきました。

### 2. 池田市とウォンバットとの出会い

池田市が英語圏である子供たちとの環境教育、地域レベルでの国際化の観点から、オーストラリアのローンセストン市と姉妹都市提携を結んでから60周年を迎えようとしています。

今から33年前の平成2年に姉妹都市提携25周年の動物親善大使として3頭のウォンバットを受け入れて、その後ウォンバットの赤ちゃんが生まれたのがここ五月山動物園であり、平成4年、平成5年と2年続けて生まれた珍しい動物園です。

平成29年には、姉妹都市提携50周年記念に合わせて、ウォンバットのコウ、ユキ、マルを受け入れました。現在は、日本で飼育されている6頭中、4頭のウォンバットを飼育しており、ウォンバットファンの中では、ウォンバットの聖地として親しまれています。現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、姉妹都市との交流が制限されている状況ですが、対面での交流の再開が望まれます。

### 3. ウォンバット「ワイン君」のギネス世界記録更新

令和4年2月11日、五月山動物園において飼育されているウォンバットのワイン君（オス、33歳）が「飼育下における世界最高齢」として、ギネス世界記録認定を受けました。この成果は、姉妹都市ローンセストン市やオーストラリアのケリー園長並びに今までに関わったすべての方々のおかげです。



ギネス世界記録認定証の贈呈

### 4. ウォンバット課（自称）の設立

池田市ではウォンバットと池田のまちをより多くの人に知ってもらうため、広報シティプロモーション課と庁内の有志メンバーによる検討チームを結成、ウォンバットを活かした事業の一環として、市職員に募集をかけたところ10人の職員が名乗りを上げ、「ウォンバット課（自称）」が設立されました。「ウォンバットと暮らすまちいけだ」を合言葉に、ウォンバットの魅力を全面に押し出したさまざまな取り組みが企画されています。

### 5. ウォンバットを活用した取り組み事例

企画について少し紹介しますと、大きな取り組みとして、「ウォンバットの日2022」のイベントの開催があります。世界的に10月22日は「WORLD WOMBAT DAY」としてウォンバットファンに知られており、ウォンバットギネスレコードを達成した五月山動物園でウォンバットの日イベントを開催したいと声掛けをしたところ、ウォンバット課や五月山動物園関係者によって開催することができました。テーマは「WOMBAT」です。WOMBATにちなんでブースや物販の催しを開催して全国からウォンバットファンに集まっただき、大盛況で終えることができました。来園された方にアンケート調査を実施したところ、池田市民以外の来園者が9割を占めていたことを知り、ウォンバットの魅力とポテンシャルを再確認することができた良い機会となりました。

また、池田市に本社のあるダイハツ工業からは、スポーツカー「コペン」をWOMBATでラッピングした「ウォンバットカー」をご寄贈いただき、さらにウォンバット「ワイン」と大阪エアポートワイナリーの「ワイン」がタッグを組んで「ワインのワイン」と名付けた白ワインを販売したところ、すぐに完売するなど、今後も新たな取り組みを企画していく予定です。



五月山動物園のウォンバット

### 6. 「オーストラリアの森と草原」をテーマにした五月山動物園の生息環境整備

ウォンバットのギネス世界記録が認定され、機運が高まる中、五月山動物園の課題でもある施設の老朽化対策が急務であり、今回をきっかけに動物園の再整備計画に乗り出しました。動物園デザイナーとして有名な大阪芸術大学の若生謙二教授と出会い、先生より「五月山の緑を借景し、ウォンバットが生息する環境を目指した展示を創り出すことに私も協力する。」と力強いお言葉をいただき、令和3年度からスタートを切りました。基本計画を策定する中で、厳しい財政状況において予算確保という大きな壁にぶつかりました。そこで、さまざまな財源確保を検討したところ動物園に特化した国の補助金がなく、行きついたのが「地方創生拠点整備交付金事業」でした。デジタル田園都市構想として、まち・ひと・しごと総合戦略に位置づけされた事業で先進的な取り組みについて交付金をいただける内閣府の事業であり、今後活用に向けて取り組んでいく予定です。「ウォンバットを救え!! みんなでつくる五月山動物園」を合言葉に、地方創生拠点整備交付金事業を活用しながら、ふるさと納税や企業版ふるさと納税などたくさんの方々のご協力をいただき、官民連携で動物園をリニューアルしていきたいと考えております。ご興味をもっていただける方は是非、ご協力のほどよろしくお願い致します。

### 7. 今後の展望について

大阪関西万博のサテライト市としての意義として、オーストラリアのローンセストン市と姉妹都市提携する池田市が、ウォンバットという親善大使を通じて、ますます両市の絆を深めるために持続可能でより深い交流に努めなければならないと考えます。そのためにも日本で6頭いる中の4頭を飼育している五月山動物園のウォンバットが絶えることなく、持続的な飼育、将来的には、日本で初のブリーディングを行った池田市五月山動物園で計画的にブリーディングを仕掛けてWOMBATの繁殖を目指し、ウォンバットの聖地として、日本におけるウォンバット飼育の先導者としての役割を果たしていけたらと思っています。

## 地域らしさと潤いにあふれ、次代に誇れる美しいまちをめざして



吹田市 都市計画部 都市計画室長 大塚啓之

### 【景観まちづくり計画の改定】

吹田市は大阪府の北部に位置し、大阪都心部や近隣都市との交通利便性にも優れており、また万博記念公園やエキスポシティがあることで知られている。千里ニュータウンをはじめとする住宅地としても人気があり、住宅情報誌の住みたい街ランキング2022では関西圏で5位にランキングし、現在も人口は増加傾向にある。

これは、利便性だけではなく、「多くの人々を引き寄せる魅力あるまちなみがあるから」と私達は考え、市内の個性あふれる景観を、次代につなぎ、さらに高めるため、策定から10年以上が経過した「吹田市景観まちづくり計画」の改定に取り組んだ。

まず、個性豊かな景観まちづくりを進めるにあたり、本市の景観の特性を整理することから着手した。一つ目は「地形」である。本市の地形は大きく南と北、それぞれに特徴を持っている。南は神崎川・安威川沿いにひろがる平野、北は起伏に富んだ千里丘陵によって構成されている。次に、まちが成長してきた「歴史」を振り返った。古くから市街化が進んだ地域では今も集落の面影が残る場所があり、経済成長期に企業が立地した広大な敷地は、移転等により大規模な土地利用転換が行われ、ここ数年の間に共同住宅や戸建て住宅が立ち並んだ場所もある。そして三つ目の特性は「土地利用」。住宅だけでなく、市内には商業や工業が集積した地域が、それぞれその特性を發揮している。最後に人々の「都市活動・暮らし」。市内全域が市街化区域となる本市では、それぞれの地域ごとに人々の暮らしや活動があり、これらは景観を構成す

る一つの要素になっている。

これら四つの要素がおおむね共通するひとまとまりの空間の範囲を「景域」としてエリア分けを行いその数は45にも及んだ。令和4年4月に改定した「吹田市景観まちづくり計画」には、45の景域別の景観特性と景観まちづくりの方針を示しているため、是非ご一読いただければと思う。

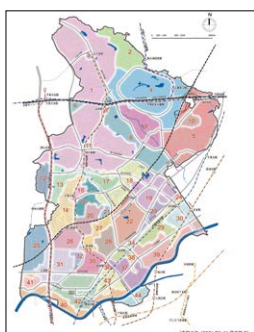
### 【屋外広告物ガイドライン】

屋外広告物は、多くの人々に必要な情報を提供するために大変有効な存在ではあるが、テレビや新聞などの広告と違い、まちを歩いていけば自然と目に入るもので、その公共性は高い。令和2年4月、本市は中核市に移行し、屋外広告物に関する事務が大阪府より移譲され、許可事務を行う際には屋外広告物が設置場所や大きさ等の基準に適合しているか否かを確認するだけでなく、景観の視点から色彩や大きさなど、周辺と調和した屋外広告物となるよう申請者と事前協議を行っている。令和4年4月には、良好な景観形成と、公衆の危害の防止の観点から、「吹田市屋外広告物ガイドライン」の運用を開始、必要な情報を伝えつつも、景観にも調和し、安心安全な屋外広告物となるよう事業者にも活用を促している。地域の特性を大切にしたい魅力的な広告物となることで人々に関心を持たせ、心が動き、購買意欲の向上や利用促進にもつながると思う。このガイドラインを広くご活用いただき、広告物のあるまちの魅力がさらに高まれば、事業者にとってもプラスになるものと考えている。もちろん、我々公共団体もまちに様々な看板を掲出しており、自らも範となるよう取り組んでいきたい。

### 【第4回景観まちづくり賞】

令和3年度に、12年ぶりとなる第4回吹田市景観まちづくり賞を実施した。久しぶりの開催であったこともあってか、応募件数は100件にのぼり、その反響に大変驚いたところである。表彰は「建築物部門」「屋外広告物部門」「敷地（しきぎわ）部門」「まちなみ部門」「活動部門」の5つの部門で行い、厳正なる審査の結果、Panasonic Stadium Suitaをはじめとする12作品が選ばれた。表彰作品については吹田市都市計画部のホームページに掲載しているので、是非ご覧いただきたい。この5つの部門の中にある「敷地部門」についてご紹介させていただく。「敷地」とは道路等に接する外構部分のことで、多くの人々の目に触れ、景観上重要な役割を担っている。敷地内でありながら景観上きわめて公共性が高い部分と言え、花や緑、飾りつけや照明など、個人でも比較的容易に手を加えることができる部分である。自らの敷地をきれいに保つような個々の小さな取組も景観まちづくりの大切な要素であり、これらが繋がって美しい景観が形づくられていくという考えのもとに、表彰部門の一つとして「敷地部門」を設けることとなった。

景観まちづくりは事業者が行うというイメージを払拭し、市民の皆様にも景観まちづくりをもっと身近なものと思っていただきたいという願いを込め、今回の第4回景観まちづくり賞受賞作品だけでなく、過去の実績作品も含め、吹田の貴重な景観資源を、引き続き皆様に発信していきたい。



吹田市の景域



吹田市屋外広告物ガイドラインより



景観まちづくり賞

# 委員会活動予定

研修部門		CPD	実施日	定員	
研修委員会(構造・施工担当)					
	鉄とステンレス新素材の活用講座(WEB講習)	4	12/27~1/9	—	
	「緩ませない」「脱落・破断させない」ボルト設計と留意点	3	2/8	40	
	枚方市文化芸術センター説明会+見学会	2	2/16	80	
	茨木市文化子育て複合施設「おにくる」工事見学会+説明会	3	2/21	30	
受託講習					
	令和4年度建築士定期講習(DVD講習)	第11回	6	3/2	50
	監理技術者講習	第6回	6	1/20	20
		第7回	6	2/17	20
		第8回	6	3/16	20
事業部門		CPD	実施日	定員	
女性委員会					
	”ささっ”と描けるスケッチパース	2回シリーズ	2	2/2、3/9	25
国際委員会					
	第17回海外研修旅行「ベトナム～ホーチミン市建築士会との交流」			2/22~28	20
建築表彰部門		CPD	実施日	定員	
	第66回大阪建築コンクール 応募受付			1/16~1/31	
社会貢献部門		CPD	実施日	定員	
耐震インスペクション委員会					
耐震診断	既存木造住宅の耐震診断 (防災センター、大阪市、東大阪市等経由) 大阪府ブロック耐震診断				
インスペクション	既存住宅状況調査				
	既存住宅状況調査技術者講習(対面講習)	更新講習	2	2/22	20
	既存住宅状況調査技術者講習(WEB講習)	更新講習	2	1/16~1/31	全国200
		新規講習	5	2/1~2/15	全国50
		更新講習	2	2/1~2/15	全国200
		更新講習	2	2/16~2/28	全国200
		新規講習	5	3/1~3/15	全国50
		更新講習	2	3/1~3/15	全国200
建築相談委員会					
	建築相談活動 (電話相談、面接相談、現地相談) (公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センターのご紹介				
			2	1/18	20
地域まちづくり委員会					
地域分科会	和泉市新庁舎 見学会	(いずみ野)	3	1/14	40
まちづくり分科会	令和4年度 大阪地域貢献活動事業助成 申請受付 クラウドファンディング「まちづくりびと応援プロジェクト」				
				12/1~1/31	
				12/21~2/17	
ヘリテージ委員会					
	令和4年度 大阪府ヘリテージマネージャースキルアップ講習				
	第4回 現場調査の方法1、2		4	2/4	40
	第5回 保存活用の考え方と実際1、2		4	2/25	40
	第6回 保存活用計画の策定・構造、文化財の防災		4	3/25	40

安心・安全・快適な、モノづくりをめざす

上田茂久

株式会社 上田茂久・建築設計工房  
大阪市北区中津1-12-3

DX・GX・SXを社会貢献に！

岡本森廣

株式会社 長田建築事務所  
大阪市中央区谷町9-5-28-806

澤本侃一郎

株式会社 K&S総合企画  
大阪市西区京町堀2-2-1  
(スマビル10F)

謹賀新年 新たなステージを！

田中義久

株式会社 田中都市建築事務所  
(TANATOSHI DESIGN NET)  
大阪府中央区本町橋5-14  
オージービル本町橋902

2025関西大阪万博を共創しよう！

徳岡浩二

株式会社 徳岡設計  
TOKUOKA SEKKEI MYANMAR Co., LTD (YANGON)  
大阪府中央区本町橋5番14号  
(オージービル本町橋3階)  
大阪・東京・滋賀・九州

ひとにやさしく

沼田 亘

株式会社 昭和設計  
大阪府北区豊崎4-12-10

SDGs 人類共有の目標の実践へ

柳川陽文

株式会社 小河建築設計事務所  
大阪府中央区瓦町3-3-7  
(瓦町KTビル6F)

あけましておめでとうございます

横田友行

株式会社 能勢建築構造研究所  
大阪府中央区瓦町3-3-7  
(瓦町KTビル)

建築設計事務所 他

Trust & Quality

大原秀夫

東西建築サービス株式会社  
大阪府中央区高麗橋4-7-7

大松 敦

株式会社 日建設計  
大阪府中央区高麗橋4-6-2

人、社会、地球環境との共生

金峰鐘大

株式会社 IAO竹田設計  
大阪府西区西本町1-4-1

米井 寛

株式会社 東畑建築事務所  
大阪府中央区高麗橋2-6-10

渡邊浩文

公益社団法人日本建築積算協会  
関西支部 支部長

100年をつくる会社

**鹿島**

常務執行役員  
支店長 茅野 毅

関西支店：大阪市中央区城見2丁目2番22号 電話06(6946)3311  
本社：東京都港区元赤坂1丁目3番1号 電話03(5544)1111

**大成建設**  
TAISEI

*For a Lively World*

専務執行役員関西支店長 加賀田 健司

関西支店：大阪市中央区南船場1-14-10 電話06(6265)4504  
本社：東京都新宿区西新宿1-25-1 電話03(3348)1111

建材・設備会社他



UCHIYAMA

〈会社案内〉



明けましておめでとうございます。

株式会社 内山鑑定事務所

代表取締役社長  
1級損害保険登録鑑定人

内山 真

〒107-0052  
東京都港区赤坂 2-2-17  
ニッセイ溜池山王ビル 2F  
TEL:03-5545-8600 FAX:03-5545-8619



一般社団法人

**大阪電業協会**

会長 前田 幸一

〒530-0055  
大阪市北区野崎町9番8号 永楽ニッセイビル  
TEL(06)6363-4077 FAX(06)6363-4079  
ホームページ <https://www.osdenkyo.or.jp/>

人と建物をつなぐリノベーションリーダー-KGS



**近畿外壁仕上業協同組合**

理事長 宮澤 健一

〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目7番12号  
TEL(06)6533-0768 FAX(06)6533-0784  
URL <http://www.kinki-gaiheki.or.jp/>

荷物用エレベーターもクマリフト。



荷物用・人荷用エレベーター  
小荷物専用昇降機(ダムウェーター)  
メンテナンス・保守・リニューアル

総合エレベーターメーカー

**クマリフト株式会社**

本社：大阪市西区京町堀 1-12-20  
TEL：0120-07-0570  
ホームページ：[www.kumalift.co.jp](http://www.kumalift.co.jp)



マンション・ビルの大規模修繕工事  
**高分子株式会社**



[www.konounsni.co.jp](http://www.konounsni.co.jp)

代表取締役 山口 朗

〒599-8271 大阪府堺市中区深井北町3418-1 TEL：072-278-4157(代表)

建築・インテリア・土木・造園  
建設のすべては、修成で学ぶ

学校法人 修成学園

**修成建設専門学校**

理事長 山下 裕貴

〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目19番30号  
TEL.06-6474-1644



キノウを超える、ミライへ。

**DAIKEN**

大建工業株式会社

大阪市北区中之島3-2-4  
中之島フェスティバルタワー・ウエスト  
06-6205-7214

再生可能な100%紙製リング



綴じ具も紙でできているため分別する必要がなく、紙類の資源としてリサイクルできます。

ネットショップ営業中! <https://chuwa.shop-pro.jp/>

**CHUWA 中和印刷紙器株式会社**

〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53 TEL.(073)431-4411 FAX.(073)431-8188

低炭素化の防水仕様で環境へ貢献



■ピロヴェルトE新熟工法 ■シグマートE

**日新工業株式会社**

大阪支店 支店長 佐藤 泰臣

大阪支店：〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-12-22  
TEL 06-6533-3191(代表)  
本社：〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4  
TEL 03-3882-2424(代表)

一般社団法人 **日本建築材料協会**

会長 松本 将

本部 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-23 撞木橋ビル4F  
TEL 06-6443-0345 FAX 06-6443-0348  
支部 関東・中部・中国・四国・九州  
<https://www.kenzai.or.jp>

「サービス提供」から「価値共創」へ



一般財団法人

**日本建築総合試験所**

理事長 上谷 宏二

〒565-0873 吹田市藤白台5-8-1  
TEL 06-6872-0391 FAX 06-6872-0784  
<https://www.gbrc.or.jp>

学校法人 福田学園



**OCT 大阪工業技術専門学校**

**OHSU 大阪保健医療大学**

**OCR 大阪リハビリテーション専門学校**

理事長 福田 益和

〒530-0043 大阪市北区天満1-9-27  
TEL 06-6352-0093 FAX 06-6352-5995  
URL <https://www.fukuda.ac.jp>

夢のレンガを積みあげよう



**都窯業株式会社**

大阪市北区西天満2-8-1 大江ビル  
☎(06)6367-0389 FAX(06)6367-5567  
工房 三重県伊賀市西山 伊州窯 伊州観白樓  
E-mail:info@miyakoyogyo.com  
HP :<http://www.miyakoyogyo.com>

アルミニウム建築材料 アルミニウム総合商社



**安田株式会社**

代表取締役社長 安田 誠

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-11-9 長堀安田ビル7F  
電話 06(6251)7091 FAX 06(6262)3629

本社 大阪  
札幌 北関東 東京 名古屋 大阪 福岡

## 広島に残る原爆関連施設の今

広島原爆傷害研究所職員宿舎 一九五三年

文・写真 松隈洋 [京都工芸繊維大学教授]

どうしても確かめておきたいと思い、前川國男の知られざる作品である広島原爆傷害研究所（略称ABC）  
現・放射線影響研究所）職員宿舎を訪ねたのは、二〇〇六年八月下旬のことだった。場所は広島駅から南へ約一・五キロ、古くから桜の名所である標高七〇mの比治山公園の南に位置する。おりしも、二〇〇五年十二月から東京ステーション・ギャラリーを起点に生誕一〇〇年前前川國男建築展がスタートし、新潟市美術館の会

期を終えて福岡市美術館へ巡回される直前に当たる。実は、同年十一月に「文化遺産としての村野藤吾作品」をテーマに始まる第八回村野展で担当した世界平和記念聖堂の調査の際に立ち寄ったのである。  
この時の広島行きでは、印象深い出来事も重なった。直前に映像作家の宮岡秀行氏から連絡を受けて、来日中の「ミツバチのささやき」で有名なスペインの映画監督ビクトル・エリセ

西側から見た外観。  
二〇〇六年撮影／筆者



南西側から見た外観全景。  
一九五三年撮影／前川國男



るので、丹下健三の広島平和記念資料館と公園、村野の聖堂を案内してほしいと依頼され、現地で落ち合うことになったのだ。聞けば、被爆地広島を舞台にしたアラン・レネ監督の映画「ヒロシマ・モナムール」（一九五九年）を観て以来、広島を訪れたかったのだという。彼は、原爆ドームをスケッチする老人に声をかけ、平和公園内に保存されている被爆樹木のアオギリに祈りを捧げるなど、終始感慨深げだった。また、聖堂でも、信者で建築士の青葉憲明氏の説明を受けながら、静かに村野の建築と向き合っていた。筆者も、改めて広島戦後の近代建築が持つ歴史的な意味に気づかされた。

というのも、翌日に訪れたABC職員宿舎は、丹下の広島平和記念資料館（一九五五年）や村野の世界平和記念聖堂（一九五四年）と同時期の一九五三年に竣工し、凶らずも、三つの建物はいずれも原爆と深く関係する建築だからである。歴史を振り返れば、一九四八年に行われた戦後初となる聖堂の公開コンベンでは二等に丹下案、三等に前川案が選ばれたが、一等は選ばれず、審査員を務めた村野の設計により完成する。また、翌一九四九年の平和記念資料館と公園の公開コンベンでは丹下案が一等となって実現する。前者は被爆したラサール神父ら信者の願いを受けた村野が無償で設計し、後者は旧制広島高校出身の丹下が旧友たちの無念の思いを胸に、原爆ドームに焦点を結ぶ象徴的な造形により、「平和をつくり出す工場」としての記念館と公園を構想したのだ。そして、同じ頃、前川は、この原爆関連施設の職員宿舎を手がけていたことになる。

一九五〇年代前半期は特別な時代

だった。占領下にあった敗戦直後の日本では、戦時下から続く建築資材統制により鉄筋コンクリート造の本格的な近代建築の建設は許可されず、一九五〇年の全面解除を待つて始められる。それに合わせるかのように、同年に復刊された『国際建築』は、一九二八年創刊時の編集者小山正和（一八九二〜一九七〇年）の存在が大きかったのだろう。ル・コルビュジエとグロピウスから届いた直筆の手紙や、ライト、ミース、アアルト、イームズの作品など、堰を切ったように欧米の近代建築の最新情報が伝えられていく。また、レーモンドのリーダーズ・ダイジェスト東京支社、坂倉準三の神奈川県立近代美術館、前川の日本相互銀行本店など、日本の建築も相継いで掲載される。

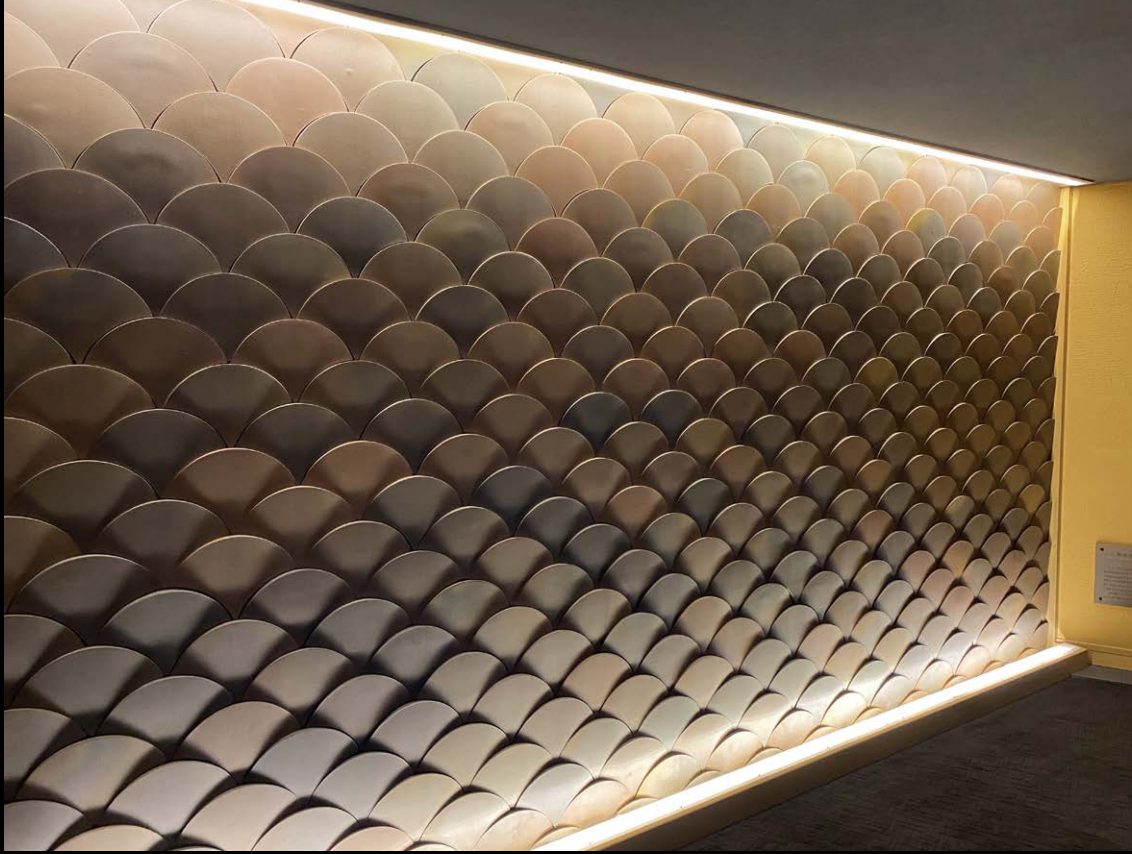
そんな中、その清新な姿が目されたのだろう。職員宿舎は、『国際建築』一九五四年三月号の表紙を飾り、巻頭に七頁にわたって掲載された。だが、設計監理は「MIDDグループ」、担当は野々口夫、進来廉、鬼頭梓、小崎嘉昭とだけ記され、前川の名前はない。前川事務所にも関係資料は残されていないという。唯一、竣工時に前川が撮影したと思われるカラー・スライドが見つかった。そして、一九七〇年に宮内嘉久の編集協力で作成された『前川國男建築設計事務所経歴書』の作品目録には、建築主「米国籍務省」、「ABC（原爆傷害研究所）職員宿舎」と明記される。このことは何を意味するのか。もやもやとした疑問を抱き、現在の姿と設計依頼の経緯を確かめたいと思ひ、現地に赴いたのである。

棟を見下ろす高台の上に建つRC造

二階建ての宿舎が見えてくる。三八室の寝室と暖炉のある食堂・娯楽室、厨房などから構成された延床面積約千四百㎡の宿舎は、暖炉は撤去されていたが、吊り構造の螺旋階段など、水平線を強調した軽快な内外の空間は原形を保っていた。また、そこには、三年前の『国際建築』一九五一年三月号に掲載されたレーモンドのスタンダード石油社宅の影響が読み取れるように思えた。そして、案内役の職員から、期待した契約書は残っていないと断られつつも、設計図九枚のコピーを受け取る。

なぜ今この建物を取り上げるのか。原爆投下から七〇年目の二〇一五年、広島市は、「比治山公園『平和の丘』構想」を策定し、現在、北側の広島市現代美術館の改修や広場の整備などを進めている。その第三期の中で、近い将来、放射線影響研究所の全面移転を行い、「平和・芸術文化ゾーン」とする際に、この宿舎をレストランとして活用する計画なのだ。一方、二〇二〇年のテレビ新広島の特別番組「誰がための放影研」で報道されたように、ABCの実態は、原爆の人体への影響調査という軍事目的の「治療をしない」研究機関であり、被爆者の不信感も拭えてはいない。全面移転と公園整備の中で、その負の歴史をどう伝えていくのか。そして、その時、前川が残した建築をどう扱うのか。課題は山積だが、そこに刻まれた歴史を検証しながら、今後の在り方について議論を尽くすことの意味が共有されていくのだと思う。

私事ながら、亡き父が長崎で被爆した者として、その行方を見守りたい。



## 【oiya (オイヤ)】

野水瓦産業株式会社  
御原特殊瓦株式会社  
株式会社タツミ

<https://www.oiya.jp/>

取材：橋本頼幸／建築情報部門委員



## 淡路瓦イズム



野水瓦産業（株）・御原特殊瓦（株）・（株）タツミの淡路島窯元 3 社のプロジェクトが立ち上がった。土と共生するために。

淡路島出身の著名プロダクトデザイナーである倉本仁氏とコラボレートして『oiya』プロジェクトがスタートした。

コロナ禍で発表会の開催が難しいなか、昨年夏、東京西麻布のカリモク・コモンズ東京で『oiya』の作品発表会を開催。

土は太古からの記憶を積層している。その土に新たな形と役割を与えること。それが『oiya』の目指すところ。

瓦製造技術は約 400 年前に淡路島に伝えられたと言われている。良質な粘土と海上交通、京都・奈良・大阪での瓦需要などの地理的条件が重なり、淡路島は日本三大産地のひとつとして発展してきた。しかし、現代の都市や生活空間には土を感じることは少なくなった。土の素朴さ、力強さ、柔らかさ、土が持つちからを改めて感じてもらいたい。淡路瓦にかかわる人たちはそれを強調する。

屋根材としての瓦の販売量は、最盛期の 1/6 までに激減した。瓦事業にかかわる会社や人々も最盛期の 1/4 まで減っている。瓦が現代建築で使われなくなったことに、後継者不足も追い打ちを掛ける。

現代建築において使われるタイルは国内で製造するところは少ないという。瓦は小ロットから、かつお客さんのニーズに合わせたものも作れる。タイルでできないことをできるのが瓦の良さ。野水専務はそう強調する。

『oiya』プロジェクトの三社は、それぞれ特徴を持つ。(株)タツミは鬼瓦や飾り瓦などを作る職人「鬼師(鬼瓦職人)」が一つ一つ手作り製作を得意とする。御原特殊瓦(株)は土を知り尽くし、特殊な瓦の成形・焼成を得意とする。野水瓦産業(株)は手仕事から最新技術を駆使した多種多様な瓦を製造する。この三社が集まったからできたプロジェクトである。

語源は、北欧で『島』を意味する「øy」に由来。出来あがった製品そのものだけでなく、島の産土(うぶすな)を意識し、次の時代に残す新しい「もの」づくり。

『oiya』の製品は、外壁材と家具の約 20 種類。野水専務はこれまでいくつか納入実績ができて、徐々に広がってきている実感を感じている。しかし、家具は一つ一つ手作りで大量生産にもかない。海外進出も視野に入れてホームページは英語と日本語の併記している。アジアのみならず、ヨーロッパ、アメリカにも出荷を考えるが、新型コロナウイルスの影響で輸送に時間を要する。様々な困難にぶつかりながらも、土の良さを前面に出した商品の開発を続ける。瓦のデザイン性の高さを店舗内装などにも使ってもらいたい。

長年培われた伝統と時代に合わせて挑戦する心意気が新しい化学反応を起こすだろう。

### ■淡路瓦のお問い合わせ先

淡路瓦工業組合

兵庫県南あわじ市湊 134

Tel.0799-38-0570 Fax.0799-37-2030

info@a-kawara.jp

<http://www.a-kawara.jp/>



第13回・第14回 建築人賞 佳作(2020・2021)